

## 日本スポーツマスターズ 2010 水泳競技

### ◇主 旨

21世紀のスポーツ振興を図るにあたっては、幼児から高齢者までが生涯を通じて自己の能力、志向等に応じて、豊かにスポーツを享受することのできる環境を醸成していくことが重要である。

本大会は、スポーツ愛好者の中で、競技志向の高いシニア世代のシンボリックなスポーツの祭典として、参加者がお互いに競い合いながらスポーツに親しむことにより、生涯スポーツのより一層の普及・振興を図り、併せて、生きがいのある社会の形成と、健全な心身の維持・向上に寄与しようとするものである。

- ◇主 催 (財)日本体育協会・(財)日本水泳連盟  
◇主 管 三重県水泳連盟  
◇協 力 (社)日本マスターズ水泳協会  
◇期 日 9月18日(土)・19日(日)  
◇会 場 三重県・県営鈴鹿スポーツガーデン水泳場(鈴鹿市御薊町1669)

### ◇種目および参加人員

#### (1) 競技種目

自由形	50m	100m	背泳ぎ	50m	100m
平泳ぎ	50m	100m	バタフライ	50m	100m
個人メドレー	200m		フリーリレー	200m	
メドレーリレー	200m				

※男子、女子および年齢別共に同一種目とする。

#### (2) 年齢区分(男女共通)

①個人種目(個人の満年齢)	②リレー種目(泳者4名個人の満年齢)
1部(30歳～34歳)	1/2部(30歳～39歳)
2部(35歳～39歳)	3/4部(40歳～49歳)
3部(40歳～44歳)	5/6/7部(50歳～64歳)
4部(45歳～49歳)	
5部(50歳～54歳)	
6部(55歳～59歳)	
7部(60歳～64歳)	

#### (3) 参加人数

各都道府県からの代表選手数は当面制限しない。なお、個人の参加種目は1人3種目までとする(リレーは除く)。

但し、監督(選手を兼務することができる)は1名とする。

### ◇競技方法

- (1) 全て、男女別、年齢グループ別のタイムレース決勝とする。  
(2) (財)日本水泳連盟競泳競技規則による。

### ◇参加資格 年齢基準および所属都道府県

選手は、(財)日本水泳連盟又は、(社)日本マスターズ水泳協会登録完了者(平成22年度)で、下記に該当すること。(記録は、所属する団体の公認記録とする)

- (1) 平成22年4月1日現在とする。  
(2) 所属する都道府県に在住または在勤の者。  
(3) 第65回国民体育大会水泳競技会に選手として参加する者は、本大会に選手として参加することはできない。

※監督については、公認水泳コーチ・公認水泳上級コーチ、公認水泳教師・公認水泳上級教師、公認

水泳指導員・公認水泳上級指導員の資格を有する者とする。（指導者資格は、(財)日本体育協会公認資格とする）

◇申込金 1人 3,000円（監督専任者を除く）

※参加者の旅費、宿泊費、参加料は自己負担とする。

※一度納入された参加料は返金しない。

※地震・風水害により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

◇申込方法

(1) 参加希望者は、所定用紙に必要事項を記入し、都道府県水泳連盟に申し込む。

(2) 都道府県水泳連盟は、参加資格、参加人員の規定に合わせ、選手を選出の上、所定の参加申込書を3部作成し、7月20日（火）必着にて、2部を所属都道府県体育協会に、1部を(財)日本水泳連盟に提出する。

なお、参加料は都道府県水泳連盟が取りまとめて、参加申込書類と振込受領証コピーを(財)日本水泳連盟に提出する。

(財)日本水泳連盟の指定口座へ振り込むこと。

(3) 都道府県体育協会は、2部の参加申込書のうち1部を、7月27日（火）までに、(財)日本体育協会へ送付する。

(4) 参加申込後に選手を交代する場合には、所定の様式により上記(1)、(2)、(3)の参加申込を同様の要領にて届けなければならない。

◇表彰

(1) 各種目の年齢グループごとに、第1位から第3位までの者に、それぞれ記念品を第1位から第8位までの者に、それぞれ賞状を授与する。

(2) 男女総合成績上位の都道府県を表彰する。

◇その他

(1) 資格審査・プログラム編成会議

日時／8月3日（火） 10:00～12:00

場所／(財)日本体育協会 102会議室

〒150-8050 渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館

TEL 03-3481-2215

(2) 監督者会議

日時／9月17日（金） 15:00～（予定）

場所／三重県営鈴鹿スポーツガーデン水泳場内会議室

(3) 競技日程、組合せ等の確認

(財)日本水泳連盟のホームページで確認できる。